

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1000
2023.8.13

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/
松村 としお とば めぐみ
久保 みき たけこし 連
金子 あきよ 池田 めぐみ



久保市議と池田市議の議会質問を上映

これからも 市民に寄り添う政策を 議会報告会を開催



たくさんの参加者でにぎわう会場

党市議団はこれまで、議会ごとに団としての議会報告会をおこなってきましたが、この3年間はコロナ禍のもとで自粛してきました。新体制となった今期の市議団で議会報告会を再開するにあたり、今後は、4つの行政区（西区、北区、大宮区、岩槻区）を中心に、報告会を開催していこうと決めました。

7月16日、6月議会報告会が岩槻駅東口コミュニティセンターで開催されました。参加者66人のうち、35人が岩槻区からの参加者でした。議会全体の様子を伝えつつ、参加者のみなさんの声も聴く、双方向の報告会となりました。



はじめに松村としお市議が全体を振り返りました。議会初日の市長あいさつでは、さいたま市民の日のことや、浦和レッズ、レッズレディースの優勝の話が中心で、物価高騰でダメージを受けている市民の

暮らしに寄り添う発言がなかったことを紹介。

補正予算の特徴については「マイナンバーカードの普及促進事業」や、「限られた農家や事業者対象の支援」「社会福祉施設を対象とした水道料金減免期間8カ月延長」など、市民負担を広く軽減するような事業はほとんどおこなわれなかったことを明らかにしました。党市議団では、水道料金の引き下げや、学校給食費の無償化、子ども医療費無料化の高校卒業まで延長などを求めましたが、清水市長から前向きにとりくむ姿勢が見えなかったこともあわせて報告されました。

次に、久保みき市議の代表質問の動画を上映。虐待禁止条例の制定や、農業支援、アニマルウ

ェルフェア、犯罪被害者支援、学校給食時間の共食、旧埼玉県衛生研究所跡地利用についてなど、久保市議が市民のみなさんからの相談をもとに取り上げた質問に、共感の声が寄せられました。

続いて、初の一般質問に立った池田めぐみ市議が報告。「24時間使えるAEDの設置拡大」については、消防局や地域医療課、教育委員会、先進事例のある自治体など、事前にヒアリングを重ね、応援の声が行政からもあがったこと、質問の2日後に、読売新聞が「公立学校の正門にAED設置」の記事を掲載したことを紹介しました。

とばめぐみ市議は、請願審査に対する各会派の採択・不採択の態度について紹介しました。討論もせず不採択とする会派も問題ですが、市民の切実な願いに不採択の立場で討論にたった議員のおよそ納得のできない理由に、会場からも驚きの声があがりました。

たけこし連市議は「さいたま市のレジャープールのあり方」と「さいたま新都心に移転する新市庁舎」について、パワーポイントを用いて説明をおこないました。レジャープールについては、まちづくり委員会で、市が管理する5つのうち4つを廃止する案が浮上。5つの施

設合計で、年間3億6500万円の赤字を理由にプール廃止案を提案していますが、子どもたちが楽しみにしているプールを削ることが、市民の声を反映することが、と参加者に問いかけました。新市庁舎については、市庁舎と一体としながら民間企業のための建物を別に建てる案があることを説明。また、職員一人あたりの面積も、民間と土地を共有することから国の基準よりも小さい面積であることを説明しました。

会場からの質疑応答では、「補聴器の購入費補助、早く実現してほしい」「レジャープール廃止案には経産省が関わっているのか」「若い人向けの公約とともに、高齢者にはどのような対策をするのか」「マイナンバーカードに不安がある」などさまざまな質問や意見が出され、各市議が回答しました。

司会を務めた金子あきよ市議は「数年ぶりの、対面での議会報告会。次々と手をあげて発言する参加者のみなさんの姿に、意見交換の場の大切さを実感した。これからも党市議団は、市民に寄り添う政策を進めていく」と話しました。

参加者から寄せられた感想

- 限られた時間のなかで充実した内容だった。各区でも開いてほしい
- 各議員の個性や持ち味を知ることができた
- 議員質問の様子を映像で見ることができてよかった
- 市議会がとても身近に感じられた。今後も続けてほしい



座談会

6月議会をふりかえって(下)

請願審査から他会派の態度

たけこし 今回の議会には市民からたくさんの請願が出されましたね。池田さん、はじめて審査に参加してどうでしたか。

池田 請願というのは、市民からの切実な願いですよね。私は総合政策委員会で3つの請願について賛成討論をおこないました。一方で、他会派の議員が「これでなんで不採択なんだろう」という理由で反対したことに変驚きました。例えば核兵器禁止条約締約国会議の請願、さいたま市自身が平和都市宣言もして、平和首長会議にも入っているわけで、反対する理由はないはずなのに、最終的には12人中3人（日本共産党と無所属）しか賛成せずに不採択になるのを目の当たりにしました。

とば 池田さんは討論で、市長には責任があるということも、もうこれ以上被爆者をがっかりさせてはいけない、ということも言った。そうだそうだって思ったけれど、これをひっくり返す反対討論の情けなさ、ちょっと許せないですね。

池田 「被爆者の思いに耳を傾けて、心に問うてください」「自分の心で考えて、その言葉を発していますか」と言いたかったです。

全員 ほんとだね。

たけこし 保健福祉委員会では、加齢性難聴の補聴器助成を求める請願と、酷暑から市民の命を守ることを求める請願が出されました。

久保 採択の立場は私たちだけ。とても残念ですね。加齢性難聴の請願の反対理由は「さい

たま市が国に補助金実施を要望してるから不採択だ」と。酷暑対策については、これだけの猛暑で、さいたま市でも過去に死者が出た事例があるのに不採択。エアコンの購入、修理、それから電気代の補助。これはどうにかしたいなと思いますよね。

とば 市民をひとりも死なせないっていう姿勢が市にはないよね。

久保 そう。市ができないっていうならば、じゃあ私たち超党派で市民の命を守るためにできることをやろうじゃないかっていう腹を割った議論もできない。

松村 行政の不十分さに対して、市民の請願を受けたかたちで、なんとか実現していくっていうのは、議員の役割のはずなんですけど、行政の言い訳に迎合してしまうところも問題だなと思いますね。

金子 多くの会派が「願意の一部は達成しているから、この請願は不採択」というわけですね。でも、その願意が達成されていないところが重要だから請願を採択してほしい、と請願者は言っているんですよ。一部達成でいいって言ったら、要求を押し込めることにしかならないのに、どうして採択できないんでしょうね。

たけこし やっぱり「立場」で反対なんですよ。中身じゃなくて、誰が提出したかっていうところで反対するっていうこともある。

池田 議会がそういう状態なんだということ、市民のみなさんにもっと知らせていかな

■ 2023年6月議会 各会派の請願採決表 (○=賛成、×=反対)

	共産	立憲	公明	さいたま 自民	自民 市議団	維新	無所属 みらい
酷暑から市民の命を守る対策の拡充を求める	○	×	×	×	×	×	×
加齢性難聴者のための補聴器購入助成を求める	○	×	×	×	×	×	×
日本政府に核兵器禁止条約会議へ オブザーバー参加を求める意見書提出を求める	○	×	×	×	×*	×	×
公立小中学校の学校給食費の無償化を求める	○	×	×	×	×	○	×
インボイス制度の実施延期を求める意見書提出を求める	○	×	×	×	×	×	×

※一部退席

いといけませんね。

選挙公約に掲げたけど 議員になったら反対？

たけこし 学校給食費無償化の請願ですが、池田さんの一般質問もありましたけど、4月の統一地方選挙のときに公約に掲げたにもかかわらず請願に反対する議員がいました。

久保 それはありえないですね。

金子 自分たちは国に実施を求めているから、市議会では反対する、という、市民にとって分かりにくい反対理由でした。

たけこし どの会派も、市議会ですら市長に対してもっとはっきり要求してほしいですね。

池田 インボイスの中止を求める意見書が通った自治体もあります。自治体によっては同じ

請願や意見書でも他党の態度が変わるんですか。

松村 その自治体の首長との関係によって態度が変わるということは確かにあるね。

金子 私たちにとって大切なのはいつでも「市民」の立場に立つ、ということですけどね。

たけこし 最後に、どういう立場で今後の議会に臨むか、意気込みをお願いします。

松村 6月議会に出された請願を通して、今の市議会の状況、姿というのが強く刻まれたことと思います。数の上では私たちは少数ですが、そういうなかであっても、市民のみなさんの声を市政に生かし、届けるという姿勢を貫く以外ありません。市民の命とくらしを守るという立場は揺らいではならないと、あらためて思います。9月議会も引き続きがんばります。

あなたの身近な議員です



市議(緑区)
松村としお



市議(桜区)
久保みき



市議(南区)
金子あきよ



市議(見沼区)
とばめぐみ



市議(中央区)
たけこし連



市議(浦和区)
池田めぐみ